



豎堀から続く横堀



急斜面に造られた豎堀



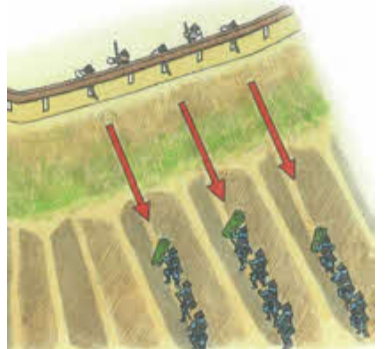
拳より大きなつぶて石



横堀の上の切岸



横堀 (よこぼり)
移動する敵を横から攻撃するための仕組み。



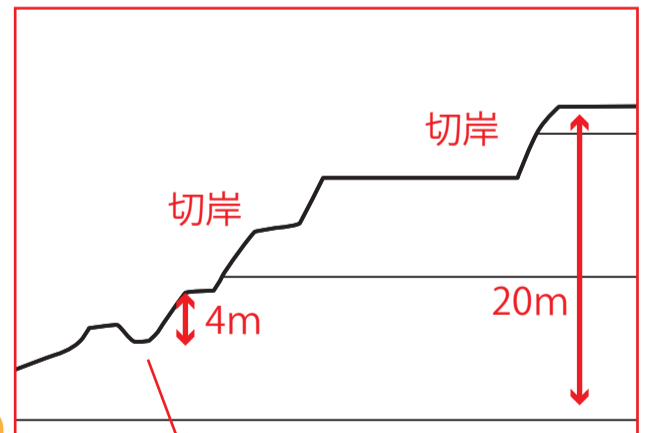
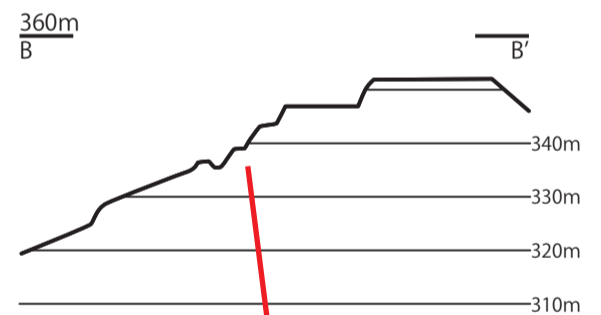
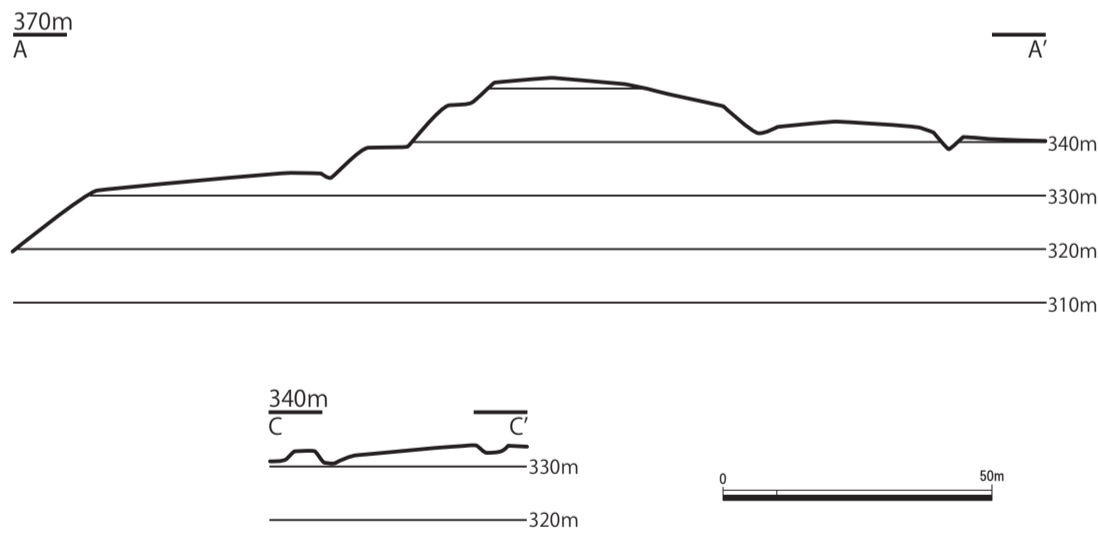
豎堀 (たてぼり)
横への移動を妨げ、敵への攻撃を容易にする仕組み。



切岸 (きりぎし)
敵を上から攻撃するために人工的に造った段差。

『完全詳解 山城ガイド』
2018 学研プラス より

〔狗尸那城の断面図〕



横堀 (幅 3m)

狗尸那城の概要 (鹿野町鷲峰 標高 352m、比高 260m)

- 曲輪。防御施設は堀切、上塁、横堀、豎堀で迷路状の斬壕のよう
- 北側は急斜面で曲輪もないが、眺望はよく、宮吉城が見える
- 伯耆筋、河内谷奥部を警戒。居住性や機動性よりも、要害を重視し険しく高い山地に築城
- 城主として山名弾正の伝承。気多郡は但馬山名の影響が強い地域 (因幡誌には小畑高尾城と争っていたこと、亀井茲矩に攻略されたことが記載)
- 遺構から考えると現状の縄張りは天正以降、亀井氏による普請か。

西因幡の主な山城と羽衣石城

